

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考	
							死亡	重傷病	軽傷病	CO中毒	火災					
A1K08-176	2008/12/16	2009/03/19	石油ストーブ (開放式)	不明	(株)コロナ	福島県						○ 火災が発生した。消火しないまま当該製品のカードリッジタンクに給油後、本体に戻す際にタンクのロックピンが外れ、灯油がこぼれて引火した可能性があるが、現在、原因を調査中。				
A1K08-175	2008/12/31	2009/03/02	石油ファンヒーター	LR-357	(株)トヨミ	茨城県						○ 当該機器のコードをコンセントに差し込んだところ、「パチッ」と音がし、その後スイッチを入れたところ、当該機器の下から燃えだした。現在、原因を調査中。				経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K08-173	2008/12/31	2009/02/02	石油ファンヒーター	型式不明	ダイニチ工業(株)	大分県	1					○ 火災が発生し、現場に当該製品があった。出火元も含め、現在、原因を調査中。				経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K08-170	2008/12/30	2009/01/22	石油ファンヒーター	FH-S323DX	(株)コロナ	長野県						○ 当該製品を使用していたところ、パチパチと音がし、ストーブ付近から火が出た。出火元も含め、現在、原因を調査中。				経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K08-169	2008/12/26	2009/01/22	石油ファンヒーター	OVF-A30	日立アプライアンス(株)	島根県						○ 当該製品付近から出火する火災が発生した。出火元も含め、現在、原因を調査中。				経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K08-166	2008/12/28	2009/01/14	石油ストーブ	SX-D27WY	(株)コロナ	東京都						○ 当該機器に給油後、再点火してしばらくすると、当該機器から漏れていた灯油に気づき、消火しようとしたが間に合わず、家屋を全焼した。現在、原因を調査中。				
A1K08-165	2008/12/27	2009/01/14	石油ストーブ	SX-24	(株)コロナ	神奈川県		1				○ 火災が発生し、住人1名が熱気を吸い込み軽傷を負った。火災現場に当該機器があり、出火元も含め、現在、原因を調査中。				
A1K08-162	2008/12/20	2009/01/14	石油ストーブ	SX-B27WY	(株)コロナ	京都府						○ 火災が発生した。火災現場に当該機器があり、出火元も含め、現在、原因を調査中。				
A1K08-157	2008/12/12	2009/01/07	石油ふろがま	CK-11S	(株)長府製作所	福島県						○ 浴槽に水を張って、運転を開始してしばらくすると、異臭がして確認したところ、浴室は煙が充満して浴槽が空だった。	事故原因は、点検用コネクターの外し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、空焚きになったものと考えられる。	株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとし	リコール品社告(2007/07/27)	
A1K08-155	2008/12/12	2008/12/25	石油給湯機	RPH43KS	TOTO(株) (製造:東陶ユibro (株)解散)	鹿児島県						○ 当該製品を使用中、外で音がしたため確認すると、機器が焼損していた。現在、原因を調査中。				リコール品社告(2008/09/02)
A1K08-154	2008/12/07	2008/12/25	石油給湯機付ふろがま	UKB-3300TXA (FF)	(株)コロナ	北海道						○ 給湯中に排気管から炎が出ていた。給湯停止後しばらくすると器具の置き台の付近から出火していたため、消火した。現在、原因を調査中。				

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。  
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病又は後遺障害  
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重症病	軽傷病	CO中毒	火災				
A1K08-150	2008/12/07	2008/12/18	石油給湯機	OX-310YSO	(株)ノーリツ	沖縄県					○	給湯を使用中に当該機器から発煙しているのに気付きスイッチを切った。その後、再度使用したところボイラ付近で発火した。現在、原因を調査中。			
A1K08-149	2008/12/05	2008/12/18	石油給湯機	MBX-3090VH	(株)ノーリツ	静岡県					○	当該機器の排気口から炎が見えたため、消火した。現在、原因を調査中。			
A1K08-148	2008/11/24	2008/12/18	石油ストーブ (開放式)	SX-E261Y	(株)コロナ	愛知県		1			○	火災が発生し、1名が火傷で重傷を負った。現在、原因を調査中。			
A1K08-147	2008/11/14	2008/12/18	石油ファンヒーター	FH-HIX347BY	(株)コロナ	千葉県		1			○	火災が発生し、1名が火傷で重傷を負った。現在、原因を調査中。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K08-146	2008/11/17	2008/12/18	石油ストーブ (開放式)	RS-L21	(株)トヨミ	福島県			1		○	当該製品の置き台付近に火と思われる光が見えたので、点火つまみを上げて消火を試みたが、消火できないため、土間に移動させたところ、燃焼筒外側付近から炎が上がった。1名が両手と頭部に軽い火傷を負った。現在、原因を調査中。			
A1K08-143	2008/12/01	2008/12/16	石油給湯機	RPH32K	TOTO(株) (製造:東陶ユプロ (株)(解散))	千葉県					○	当該機器が焼損する火災が発生した。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	販売事業者である東陶機器株式会社(現TOTO株式会社)では、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-141	2008/11/23	2008/12/11	石油ふろがま	CK-11S	(株)長府製作所	東京都					○	当該製品で追い炊きを開始したところ火災が発生した。	事故原因は、点検用コネクタの外し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、空焚きになったものと考えられる。	株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとし	リコール品社告(2007/07/27)
A1K08-139	2008/11/22	2008/12/04	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302SAY	(株)ノーリツ	静岡県					○	当該機器内部が焼損する火災が発生した。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損し発煙したと考えら	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-138	2008/10/24	2008/12/04	石油給湯機	OC-300	(株)ノーリツ	宮城県					○	シャワーが出ないためボイラを確認すると燃焼ランプが消えていた。点火操作を数回繰り返したところ、発煙し、ボイラ周辺から炎が出た。現在、原因を調査中。			

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。  
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上の負傷・疾病又は後遺障害  
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重傷病	軽傷病	CO中毒	火災				
A1K08-137	2008/11/19	2008/12/04	石油給湯機	OQB-302Y	(株)ノーリツ	広島県					○	当該機器の排気口から火が出て、前方にあった可燃物に燃え移った。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-136	2008/11/23	2008/12/04	石油給湯機	DX-403D	長州産業(株)	高知県					○	湯を使用していたところ、灯油臭いにおいがし、湯がでなくなったため確認すると、ボイラーから爆音が生じ、火が出た。	事故原因は、比例弁付電磁ポンプに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である長州産業株式会社では、平成17年1月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2005/01/24)
A1K08-135	2008/11/19	2008/12/04	石油給湯機	JX-362TMDG	長州産業(株)	高知県					○	湯を使用していたところ、急に水になったため確認すると、ボイラー下部から火が出ている。現在、原因を調査中。			
A1K08-131	2008/11/10	2008/12/02	石油給湯機	OQB-405YS	(株)ノーリツ	熊本県					○	当該機器を使用後に異音が生じ、その後、ブレーカーが落ち、当該機器から発煙した。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損し発煙したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-130	2008/11/16	2008/12/02	石油ふろがま	CK-11	(株)長府製作所	宮城県					○	ふろがまを空焚きして当該機器内部が焼損した。	事故原因は、点検用コネクタの外し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、空焚きになったものと考えられる。	株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとした。	リコール品社告(2007/07/27)
A1K08-129	2008/11/15	2008/12/02	石油給湯機	OQB-305Y	(株)ノーリツ	石川県					○	家人が灯油の匂いに気付き、確認したところ当該機器のボイラー部から煙と炎が出ていた。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-128	2008/11/15	2008/12/02	石油ストーブ (開放式)	SX-D27WY	(株)コロナ	群馬県			1		○	当該機器を使用開始1時間半後、「ボン」という音と同時に、突然当該機器の下部から煙が上がると、当該機器全体に炎が上がった。消火した際に1名が火傷を負った。現在、原因を調査中。			
A1K08-124	2008/11/10	2008/11/25	石油給湯機 (FE式)	RPH40KE	TOTO(株) (製造:東陶エプロ (株)(解散))	北海道					○	台所でお湯を使用した後、ボイラー室から異音が生じたため、当該機器を確認すると焼損していた。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	販売事業者である東陶機器株式会社(現TOTO(株))では、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施し	リコール品社告(2002/10/24)

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。  
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病又は後遺障害  
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満を負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重傷病	軽傷病	CO中毒	火災				
A1K08-122	2008/11/01	2008/11/19	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302SAYS	(株)ノーリツ	茨城県					○	当該製品を使用中に異音が生じ、発煙した。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-121	2008/10/31	2008/11/19	石油給湯機付ふろがま	OTQ-405SAYS	(株)ノーリツ	福岡県					○	お湯を使用していたところ、当該機器からボンと音がし、発煙した。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-120	2008/10/24	2008/11/19	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302WY	(株)ノーリツ	秋田県					○	お湯を使用していたところ、当該製品から発煙した。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-116	2008/11/03	2008/11/19	石油ストーブ (密閉式)	FF-V45	(株)コロナ	北海道					○	点火後、当該製品の下から出火し、周囲の壁と畳が焼損した。現在、原因を調査中。			
A1K08-115	2008/11/01	2008/11/18	石油給湯機	IB-W	(株)長府製作所	静岡県					○	当該機器を使用中にボイラ室で異音が生じたので確認すると、室内に炎があがっており、当該機器や扉の一部を焼損した。現在、原因を調査中。			
A1K08-114	2008/11/01	2008/11/18	石油給湯機	RPH31VS	TOTO(株) (製造:東陶ユプロ (株)(解散))	茨城県					○	入浴中にプレーカーが落ちたため確認すると、当該機器が焼損していた。現在、原因を調査中。			
A1K08-111	2008/10/27	2008/11/11	石油給湯機	RPH31VSS	TOTO(株) (製造:東陶ユプロ (株)(解散))	沖縄県					○	給湯使用中に当該機器が焼損した。現在、原因を調査中。			
A1K08-110	2008/10/09	2008/10/23	石油ふろがま	CK-12JT	(株)長府製作所	愛知県					○	当該機器のスイッチを入れたところ、異音が生じ、発火した。現在、原因を調査中。			
A1K08-109	2008/10/09	2008/10/23	石油ふろがま	CK-11S	(株)長府製作所	滋賀県					○	焦げ臭いにおいがしたため確認すると、空焚き状態で、当該機器から火が出ていた。現在、原因を調査中。			リコール品社告(2007/07/27)
A1K08-107	2008/09/25	2008/10/08	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302Y	(株)ノーリツ	神奈川県					○	台所でお湯を使用していたところ、当該製品から発煙した。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-106	2008/09/20	2008/10/08	石油ふろがま	JPKN-3	(株)長府製作所	熊本県					○	浴槽に水を張りタイマーをセットしていたところ、しばらくすると異音が生じ、発煙した。現在、原因を調査中。			

尚、このデータは暫定データのも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。  
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病又は後遺障害  
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重傷病	軽傷病	CO中毒	火災				
A1K08-105	2008/09/13	2008/10/08	石油給湯機	UIB-3020CX (A)	(株)コロナ	長崎県					○	家屋を全焼する火災が発生した。現在、原因を調査中。			
A1K08-104	2008/08/30	2008/09/16	石油給湯機付ふろがま	JIB-7S	(株)長府製作所	山梨県					○	当該機器の追焚運転を開始後しばらくすると、異臭がして発煙していた。現在、原因を調査中。			
A1K08-102	2008/08/03	2008/08/19	石油給湯機	BV-47 (F)	(株)トヨミ	山形県					○	当該製品を使用中に異音が生じ、本体内部から炎が出た。現在、原因を調査中。			
A1K08-097	2008/07/02	2008/07/14	石油ふろがま	CK-11	(株)長府製作所	山形県					○	浴槽が空の状態タイマーをセットし、ふろがまを運転したところ、ブレーカーが作動したため、確認すると浴槽循環口上部が黒くなっており、浴室タイマー配線用の壁貫通部から火が出ていた。	事故原因は、点検用コネクターの外し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、空焚きになったものと思われる。	株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとし	リコール品社告(2007/07/28)
A1K08-095	2008/06/24	2008/07/10	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302SAY	(株)ノーリツ	静岡県					○	入浴中に屋外で異音が生じ外が明るくなったため確認すると、給湯機から発煙していた。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品品のリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-094	2008/06/10	2008/06/26	石油給湯機付ふろがま	JIB-2	(株)長府製作所	神奈川県					○	家人が当該機器を着火して外出し、その後、隣人が当該機器の異常に気づき消火した。バーナーの燃焼不良の可能性があるが、現在、原因を調査中。			
A1K08-089	2008/05/23	2008/06/10	油だき温水ポイラ	PG-34	(株)長府製作所	千葉県					○	シャワー使用中にブレーカーが作動し、ポイラの下部から出火した。現在、原因を調査中。			
A1K08-088	2008/05/22	2008/06/04	石油給湯機付ふろがま	JIB-7SG	(株)長府製作所	埼玉県					○	追い焚き中に異臭が生じ、浴室から発煙していたため消火した。	事故原因は、点検用コネクターの戻し忘れにより空焚き防止装置が作動せず、空焚きになったものと思われる。	株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとし	リコール品社告(2007/07/28)
A1K08-087	2008/05/21	2008/06/04	石油給湯機	RPH32K	TOTO(株) (製造:東陶エプロ (株)(解散))	茨城県					○	当該機器が異常燃焼しているのを発見し、確認すると、機器内部が焼損していた。	事故原因は、制御弁セット油電磁弁に使用されているリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	販売事業者である東陶機器株式会社(現TOTO株)では、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象製品について無償改修を実施し	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-086	2008/01/31	2008/06/04	石油ファンヒーター	OH-T30S	松下電器産業(株)	新潟県					○	火災が発生し、火災現場に当該機器があったが、火災原因は不明との判断。当該機器は廃棄済み。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。  
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上の負傷・疾病又は後遺障害  
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重傷病	軽傷病	CO中毒	火災				
A1K08-085	2008/05/16	2008/05/29	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302SAY	(株)ノーリツ	新潟県					○	洗い物をしていて、当該機器より発煙した。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-082	2008/05/10	2008/05/27	石油ふろがま	CK-11	(株)長府製作所	島根県					○	当該製品を24時間風呂のシステムに組み込み、使用していたところ、火災が発生した。	事故原因は、点検用コネクターの外し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、空焚きになったものと考えられる。	株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとし	リコール品社告(2007/07/28)
A1K08-081	2008/05/10	2008/05/27	石油ファンヒーター	FH-S323DX	(株)コロナ	福岡県					○	当該製品のスイッチを入れて数分後、点火とともに黒煙が出たため消火した。現在、原因を調査中。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K08-078	2008/05/04	2008/05/15	石油給湯機	DX-403D	長州産業(株)	福井県					○	当該機器を使用中に外で爆発音が生じたため確認すると、機器内部が燃えていた。	事故原因は、比例弁付電磁ポンプに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えら	製造事業者である長州産業株式会社では、平成17年1月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2005/01/24)
A1K08-077	2008/04/27	2008/05/13	石油給湯機	DX-403D	長州産業(株)	兵庫県					○	外で爆発音が生じたため確認すると、給水配管が破裂しており、機器本体から火が見えたため消火した。	事故原因は、比例弁付電磁ポンプに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えら	製造事業者である長州産業株式会社では、平成17年1月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2005/01/24)
A1K08-075	2008/02/11	2008/05/09	石油ふろがま (焼却兼用)	H2S	(株)長府製作所	岩手県					○	当該機器で薪を燃やして使用中に出火し、当該機器を設置したボイラー室の壁と天井を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。			
A1K08-073	2008/03/19	2008/05/07	石油ストーブ (開放式)	RX-280X	(株)コロナ	石川県	1				○	火災が発生し、家人1名が死亡した。現在、原因を調査中。			
A1K08-072	2008/03/16	2008/05/07	石油ストーブ (開放式)	SX-2240	(株)コロナ	石川県		1			○	当該機器から火が出ているのを発見し、消火を試みたが消火できず、住宅が全焼した。消火の際に、家人1名が火傷を負った。現在、原因を調査中。			
A1K08-071	2008/04/13	2008/04/24	石油給湯機付ふろがま	OTQ-405Y	(株)ノーリツ	茨城県					○	当該機器のスイッチを入れて、しばらくすると当該機器より発煙した。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)

尚、このデータは暫定データのも含まれていますので後日変更・削除される場合がありますのでご了承下さい。  
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病又は後遺障害  
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重傷病	軽傷病	CO中毒	火災				
A1K08-070	2008/04/09	2008/04/24	石油給湯機	IB-36SR	(株)長府製作所	長野県					○	家人が留守中に黒煙が出ているのを発見し、消火した。現場周辺にあった当該機器や網戸が焼損し、窓ガラスが割れた。現在、原因を調査中。			
A1K08-065	2008/03/07	2008/04/10	石油ふろがま	CK-11	(株)長府製作所	三重県					○	空焚きによる火災が発生し、機器本体と循環パイプが焼損した。	事故原因は、点検用コネクタの外し忘れにより、空焚き防止装置が作動せず、空焚きになったものと思われる。	株式会社長府製作所は、平成19年7月27日にプレスリリース、自社ホームページへの社告を掲載するとともに、翌28日にも新聞に社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・修理を実施することとし	リコール品社告(2007/07/28)
A1K08-063	2008/01/19	2008/04/10	石油ストーブ (開放式)	型式不明	(株)コロナ	三重県					○	火災が発生した。当該製品に給油する際に漏れた灯油に引火した可能性があるが、現在、原因を調査中。なお、関係機関から聴取した範囲では、当該社製品と推測される。			
A1K08-060	2008/03/20	2008/04/03	石油給湯機	UIB-310TX2	(株)コロナ	広島県					○	当該機器を使用中に器具内部より出火し、建物の外壁等が焼損した。現在、原因を調査中。			
A1K08-059	2008/03/20	2008/04/03	密閉式石油ストーブ	KH-400D	日立アプライアンス(株) (旧:日立熱器具(株))	北海道					○	当該機器のスイッチを入れた直後に本体内部より光と煙が発生した。製品内部の制御基板やリード線被覆等が焼損した。現在、原因を調査中。			
A1K08-057	2008/03/17	2008/03/27	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302SAY	(株)ノーリツ	石川県					○	当該機器を使用中に異音が生じ、確認すると、当該製品から発煙・発火していた。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-056	2008/02/27	2008/03/27	石油ストーブ (開放式)	RS-270	(株)トヨミ	鹿児島県					○	当該機器に点火して現場を離れしばらくすると、異音が生じたので確認すると、当該機器が燃えていた。現在、原因を調査中。			
A1K08-054	2008/03/04	2008/03/21	石油ふろがま	JSC	(株)長府製作所	長崎県					○	追い焚きのため、バーナーのタイムスイッチにより点火し、しばらくすると当該機器周辺より炎が上がり、本体及び周辺配管を焼損した。排気筒がなく排気の熱がこもる設置状況で長期間使用したことによるものと思われるが、現在、原因を調査中。			
A1K08-052	2008/03/02	2008/03/17	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302Y	(株)ノーリツ	神奈川県					○	入浴中に追い焚きスイッチを入れたところ外からボンという音がしたため確認すると、機器の内部が焼損していた。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。  
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病又は後遺障害  
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重傷病	軽傷病	CO中毒	火災				
A1K08-051	2008/03/02	2008/03/17	油だき温水ボイラ	HBU-AK7CZ	三洋電機(株)	青森県					○	当該機器から発煙した。現在、原因を調査中。			
A1K08-050	2008/02/27	2008/03/17	石油給湯機付ふろがま	JIB-2S	(株)長府製作所	千葉県					○	追い焚きを行おうとしたが、機器が正常に作動せず、プレーカーが作動した。プレーカーの復帰を試みたが復帰しなかったため機器の所に戻ってくると、機器から火が出た。現在、原因を調査中。			
A1K08-049	2008/02/16	2008/03/17	石油ストーブ (半密閉式)	KE-112CWX	サンデン(株)	北海道		1			○	火災が発生し、家人1名が重傷を負った。出火元も含めて、現在、原因を調査中。			
A1K08-045	2008/02/25	2008/03/11	石油給湯機 (開放式)	OW-33G	松下電器産業(株)	三重県					○	当該機器が燃えているのを発見し、消火した。現在、原因を調査中。			
A1K08-043	2008/02/23	2008/03/11	石油ストーブ (開放式)	SX-2260	(株)コロナ	広島県			1		○	灯油を給油後に点火をしたが着火しなかったため再度点火操作を行った際に、ストーブの近くにこぼれていた灯油に引火したと思われる火災が発生した。現在、原因を調査中。			
A1K08-042	2008/02/13	2008/03/11	石油ファンヒーター	FH-2904T(株)長府製作所ブランド	(株)トヨミ	東京都	1				○	当該製品の設置場所付近から出火する火災が発生し、家人1名が死亡した。出火元も含めて、現在、原因を調査中。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K08-041	2008/01/09	2008/03/04	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302Y	(株)ノーリツ	茨城県					○	当該機器を使用中、異臭に気がつき確認すると、当該機器から発煙していたため、消火した。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-040	2008/02/12	2008/02/28	石油ファンヒーター	GT-D30Y	(株)コロナ	愛知県	1				○	火災が発生し、家人1名が死亡した。出火元も含め、現在、原因を調査中。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K08-037	2008/02/14	2008/02/26	石油給湯機	PDX-403D	長州産業(株)	大分県					○	当該機器を使用中、外で爆発音がしたため確認すると、当該機器の内部が燃えていたため消火した。	事故原因は、比例弁付電磁ポンプに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えら	製造事業者である長州産業株式会社では、平成17年1月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2005/01/24)
A1K08-030	2008/01/31	2008/02/20	石油ファンヒーター	KD-42A3	三菱電機(株)	静岡県			3		○	着火不良で修理に出した当該機器を販売店より受け取り使用したところ、家人3名が一酸化炭素中毒になり、軽症を負った。現在、原因を調査中。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K08-029	2008/01/29	2008/02/20	石油ふろがま	CK-11	(株)長府製作所	佐賀県					○	当該製品と浴槽の一部を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。			
A1K08-028	2008/01/19	2008/02/20	石油給湯機付ふろがま	KIBF-324SAG	(株)長府製作所	栃木県					○	異臭、煙に気付き、外に出て確認したところ、車庫内に設置してあった当該機器付近から出火していた。出火元も含め、現在、原因を調査中。			

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。  
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病又は後遺障害  
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病



JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重傷病	軽傷病	CO中毒	火災				
A1K08-027	2008/01/18	2008/02/20	石油ふろがま	CK-5	(株)長府製作所	岐阜県					○	追い焚き中に火災が発生し、本体内部を焼損した。現在、原因を調査中。			
A1K08-025	2008/01/27	2008/02/19	石油小型給湯機	RPE33KS	TOTO(株) (製造:東陶ユibro (株)(解散))	山形県					○	家の外から異音が聞こえ、ブレーカーが作動したため確認すると、当該機器が焼損していた。現在、原因を調査中。			
A1K08-024	2008/01/18	2008/02/19	石油ストーブ (開放式)	SX-B27WY	(株)コロナ	広島県			1		○	当該製品付近が出火元と思われる火災が発生し、家人1名が軽傷を負った。出火元も含め、現在、原因を調査中。			
A1K08-023	2008/02/07	2008/02/15	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302Y	(株)ノーリツ	栃木県					○	自宅に帰宅したところ、当該機器から焼損して煙がでていた。現在、原因を調査中。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-022	2008/02/03	2008/02/15	石油給湯機付ふろがま	OTQ-302SAY	(株)ノーリツ	石川県					○	入浴のため、当該機器の給湯を使用し、しばらくして2度爆発音があったので、当該機器を見ると、フロントカバーが外れて中から炎が見えた。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-021	2008/02/03	2008/02/15	石油給湯機	SX-362MV (東京ツチャ販売(株)「ツチャ」プラント)	長州産業(株)	静岡県					○	当該機器の排気トップより煙が多量に出ていた為、ボイラーを見るとボイラー底に火が見えたため、消火した。現在、原因を調査中。			
A1K08-020	2008/01/29	2008/02/15	石油給湯機	RPH40KE	TOTO(株) (製造:東陶ユibro (株)(解散))	茨城県					○	入浴中に外で音がしたため、確認すると、当該機器が焼損していた。	事故原因は、油電磁弁に使用されているOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者であるTOTO株式会社では、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-019	2008/01/29	2008/02/15	石油小型給湯機	FR-42F	タラスター(株)	新潟県					○	当該製品から出火し、壁の一部及び周囲の備品が焼損した。当該製品は、そもそも家庭用であるが、学校の屋内プールの保温用として使用していた。現在、原因を調査中。			
A1K08-016	2008/01/15	2008/02/15	石油ファンヒーター	OH-J33R	松下電器産業(株)	岐阜県			1		○	当該機器より炎が出たので、当該機器を屋外に出そうとした際に、絨毯とカーテンを焼損し、家人も手足に火傷を負った。現在、原因を調査中。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K08-015	2008/01/22	2008/02/13	石油ストーブ (半密閉式)	UH-85MR	(株)コロナ	北海道			1		○	給油して点火をしたが、点火しなかったため、リセットボタンを何回か押しながら再度点火を行ったところ、当該製品の両側から炎が上がった。その際、家人が軽傷を負った。現在、原因を調査中。			

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。  
 注意)人的被害概要 重症病:治療に要する期間が30日以上の負傷・疾病又は後遺障害  
 軽傷病:治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重症病	軽傷病	CO中毒	火災				
A1K08-014	2008/01/21	2008/02/13	石油ストーブ (開放式)	SX-E351WY	(株)コロナ	愛知県			1		○	当該製品を設置した部屋から出火する火災が発生した。灯油を給油中に発生した火災の可能性があるが、出火元も含め、現在、原因を調査中。			
A1K08-013	2008/01/29	2008/02/07	石油給湯機付ふろがま	OTQ-405Y	(株)ノーリツ	山梨県					○	窓の外が明るかったのでも外に出ると、当該機器の排気口と内部から炎と煙が出ていた。	制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えら	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施して	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-011	2008/01/21	2008/02/07	石油ファンヒーター	FH-C320BY	(株)コロナ	兵庫県					○	当該製品が設置された部屋から出火する火災が発生した。出火元も含め、現在、原因を調査中。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K08-010	2008/01/02	2008/02/05	石油ファンヒーター	KD-32HTS	三菱電機(株)	神奈川県					○	当該製品が設置されていた部屋から出火する火災が発生した。出火元も含め、現在、原因を調査中。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K08-009	2008/01/16	2008/01/30	石油ファンヒーター	FH-554DXR	(株)コロナ	岩手県					○	当該製品の運転スイッチを入れてその場を離れ、しばらくして戻ってみると、当該製品から炎が上がっていた。その際、障子と廊下の天井、畳の一部を焼損した。現在、原因を調査中。			経済産業省データは「石油温風暖房機(開放式)」と記載
A1K08-008	2008/01/17	2008/01/25	石油給湯機	OQB-405FF	(株)ノーリツ	北海道					○	当該機器から発煙しているのを発見し、消火した。	事故原因は、制御弁セットに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である株式会社ノーリツでは、平成14年10月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2002/10/24)
A1K08-006	2008/01/04	2008/01/25	石油ストーブ (開放式)	SX-E350Y	(株)コロナ	福井県			1		○	消火をしないまま灯油タンクに給油を行い、タンクを本体に戻す際、こぼれた灯油に引火したと思われる火災が発生し、家人が軽い火傷を負った。現在、原因を調査中。			
A1K08-005	2008/01/08	2008/01/23	石油給湯機	OQB-305Y	(株)ノーリツ	茨城県					○	当該機器を使用中、当該機器排気口から煙が出ているのを発見し、消火した。現在、原因を調査中。			
A1K08-004	2008/01/07	2008/01/21	石油給湯機	IB-3SM	(株)長府製作所	福井県			1		○	当該機器を設置していた小屋が出火元と思われる火災が発生した。その際、家人が熱気を吸って気道に軽い火傷を負った。出火元も含め、現在、原因を調査中。			
A1K08-003	2008/01/08	2008/01/17	石油給湯機	OSS-300	(株)ノーリツ	石川県					○	家人がシャワーを使用中にお湯がぬるくなり、当該機器を確認したところ、発煙していた。現在、原因を調査中。			
A1K08-002	2008/01/02	2008/01/17	石油給湯機	OX-310YSO	(株)ノーリツ	沖縄県					○	当該機器のスイッチを入れようとした際、機器内部から発煙し、機器内部の一部が焼損した。現在、原因を調査中。			

尚、このデータは暫定データのものも含まれていますので後日変更・削除される場合もありますのでご了承下さい。  
 注意) 人的被害概要 重症病: 治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病又は後遺障害  
 軽傷病: 治療に要する期間が30日未満の負傷・疾病

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	機種・型式	事業社名	事故発生場所	被害概要					事故の内容	事故の原因	再発防止策	備考
							死亡	重傷病	軽傷病	CO中毒	火災				
A1K08-001	2008/01/01	2008/01/15	石油給湯機	DX-403D	長州産業(株)	沖縄県					○	当該機器を使用中に爆発音がし、機器内部が燃えているのを発見し、消火した。	事故原因は、比例弁付電磁ポンプに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。	製造事業者である長州産業株式会社では、平成17年1月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。	リコール品社告(2005/01/24)

注:

- ・A1K08-031/A1K08-047/A1K08-055⇒B1へ移行(08.07.01)
- ・A1K08-012/A1K08-026/A1K08-032/A1K08-058⇒B1へ移行(08.10.10)
- ・A1K08-068/A1K08-083⇒B1へ移行(09.01.09)
- ・A1K08-017/A1K08-044/A1K08-061/A1K08-062⇒B1へ移行(09.07.14)
- ・A1K08-069/A1K08-160⇒B1へ移行(09.08.07)
- ・A1K08-048/A1K08-158⇒B1へ移行(09.08.10)
- ・A1K08-007/A1K08-035/A1K08-053/A1K08-067/A1K08-113/A1K08-125/A1K08-126⇒B1へ移行(09.08.12)
- ・A1K08-034/A1K08-133/A1K08-100⇒B1へ移行(09.08.17)
- ・A1K08-098⇒B1へ移行(09.12.11)
- ・A1K08-171⇒B1へ移行(09.12.25)
- ・A1K08-064/A1K08-074/A1K08-090/A1K08-091/A1K08-092/A1K08-127/A1K08-140/A1K08-142/A1K08-159⇒B1へ移行(10.01.08)
- ・A1K08-103/A1K08-168⇒B1へ移行(10.01.28)
- ・A1K08-163/A1K08-112⇒B1へ移行(10.02.02)
- ・A1K08-096/A1K08-118/A1K08-151/A1K08-152⇒B1へ移行(10.02.15)
- ・A1K08-066/A1K08-093/A1K08-117⇒B1へ移行(10.03.16)
- ・A1K08-132⇒B1へ移行(10.03.17)
- ・A1K08-164⇒B1へ移行(10.06.18)
- ・過去4年間の経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果等を反映した。また、これに合わせ重複データのチェックを行った(10.11.05)
- ・A1K08-123/A1K08-145/A1K08-153/A1K08-161/A1K08-167/A1K08-177/A1K08-178/A1K08-046/A1K08-018/A1K08-036/A1K08-033/A1K08-038/A1K08-039/A1K08-076/A1K08-119/A1K08-144⇒B1へ移行(10.11.05)
- ・A1K08-174…重複データのため削除。(10.11.05)
- ・A1K08-151/A1K08-144…B1で且つ重複データのため削除(10.11.05)
- ・A1K08-079, A1K08-080, A1K08-134, A1K08-108…第三者委員会の判定(10/10/01)に基づきB1等へ移動(2012/04/13)
- ・A1K08-099, A1K08-101…第三者委員会の判定(10/12/03)に基づきB1等へ移動(2012/04/16)
- ・A1K08-084, A1K08-156…第三者委員会の判定(11/01/25)に基づきB1等へ移動(12/04/18)。
- ・A1K08-172…第三者委員会の判定(11/03/24)に基づきB1等へ移動(12/04/27)。